

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月7日

協議会名: 岩国市地域公共交通活性化再生法協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
岩国市	欽明路・上谷線 (玖珂駅～上谷東)	JR岩徳線への乗り継ぎに適したダイヤ設定を行うことが利用者ニーズに即した運行となることから、引続きJR岩徳線のダイヤに合わせた運行ダイヤとなるよう調整を行った。 また、利用者への周知については、時刻表の全戸配布や主要施設等に設置するとともにホームページ等への掲載も行っている。 なお、岩国市地域公共交通活性化再生法協議会において作成している岩国市総合時刻表ならびに岩国市公共交通マップも活用し周知を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり適切に実施された。	C (目標達成状況) JR岩徳線のダイヤ改正に合わせて運行時刻の調整を行い、また利用者への周知については例年の周知方法を継続して実施した。	見直し前より上回る利用があり、また前年度より1運行当たりの利用者数が若干減少しているものの、当該系統を維持することで、隣接市や市中心部への移動手段の確保、高齢者の外出促進、地域住民の活動機会の増加など地域活性化に繋がっているものと考えられる。 このため、今後も引続きJR岩徳線・広域路線バスへの乗り継ぎに適したダイヤの設定及び啓蒙活動等の利用促進を行う。 また、利用状況に即した内容での運行便数に変更することで1運行当たりの利用者数の向上を図ることにより、持続可能な運行を目指す。
	谷津上線 (玖珂駅～谷津上回転場)			C 本年度の1運行あたりの利用者数が全系統で1.23人(対前年比-0.02)で昨年度より若干減少しているものの、目標としていた1.16人(全系統)も達成できた。	
	臼田線 (玖珂駅～臼田回転場)			A 目標数を各系統別に置き換えた場合の利用者数としては、臼田線の利用者(1.28人)と玖西循環線の利用者(2.41人)のみの達成となっており、その他の路線は目標数を達成しなかった。	
	上市北・千束線 (玖珂駅～玖珂千束)			C (効果達成状況) 臼田線は隣接する福祉施設の入居者の唯一の公共交通機関を担う等、高齢者の移動手段として当該地域のニーズに対応できており、玖西循環線は玖西地域内にある主要な施設を循環する運行を行っていることから、様々な利用者の移動手段として運行できている。	
	玖西循環線 (玖珂駅～玖珂駅)			A こうした内容を含みながら地域全体においては、隣接市や市中心部への移動手段の確保、高齢者等の外出促進、地域住民の活動機会の増加などにつながった。	

いわくにバス(株)	<p>叶木線 (六呂師口～岩国駅)</p>	<p>岩国市地域公共交通活性化再生法協議会において作成している岩国市総合時刻表ならびに岩国市公共交通マップを活用し周知を図った。</p> <p>また、いわくにバス(株)においてtwitterを活用して、運休や迂回情報等の発信を行い、利用者の利便性の向上に努めた。</p> <p>利用者の要望について、運行事業者等と調整し、叶木線と持ヶ峠線において、事業者変更と合わせて週2回運行の実現に向けた検討を行った。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>(目標達成状況) JR岩国駅への接続を行うことにより利便性の向上に努めた。</p> <p>また、利用者への周知については例年の周知方法を継続して実施した。</p> <p>本年度は前年度利用者目標人数から目標値を設定していたが、総利用者数は7月豪雨災害の影響もあり、全路線で2,545人(対目標人数-372)となり目標値を達成することができなかった。</p> <p>各系統別の利用者数としては叶木線が519人(対目標人数+108人)、二鹿線が1,600人(対目標人数-233人)、持ヶ峠線が426人(対目標人数-247人)となり、2系統で目標を達成することが出来なかった。</p>	<p>今後も引き続きJR岩国駅への接続を行い、利用者への啓蒙活動等の利用促進を行う。</p> <p>また、利用者からの要望についても、運行事業者等と調整を行い、利便性の向上に努めることで、持続可能な運行を目指す。</p>
	<p>二鹿線 (北河内駅～岩国駅)</p>			<p>C</p> <p>(効果達成状況) 叶木線は大藤線(錦帯橋経由岩国駅行き)と叶木線(南岩国地区経由岩国駅行き)が重複している地区が存在しており、その地区の利用者が、叶木線の運行される曜日は、大藤線から叶木線に移手段を移したことから利用者数が増加したと考えられる。</p> <p>また、各路線においては、地域の公共交通空白地の解消と、高齢者等の移手段の確保につながった。</p>	
	<p>持ヶ峠線 (小川津～岩国駅)</p>			<p>C</p>	